

# 平成22年度病害虫発生予報第6号

平成22年9月1日  
愛 知 県

## 1 普通作物

トビイロウンカは、8月中旬に予察灯で誘殺され、本田でも8月下旬に生息が確認されました。本種は、ほ場内で局部的に生息することが多いので、発生状況に注意してください。セジロウンカは、県内各地で例年に比べ発生量の多い状況が続いており、一部ほ場で、吸汁害による生育遅延が確認されています。ほ場での生息状況をよく見て、必要に応じて防除しましょう。なお、ウンカ類の発生状況等の詳細は本日発表の「ウンカ情報第3号」を参照してください。

コブノメイガの発生量が例年に比べ多い状況が続いています。上位3葉に被害が及ぶと登熟に影響があるので、発生が目立つほ場では防除を実施しましょう。

斑点米の原因となるアカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシなどの斑点米カメムシ類の発生が、本田、畦畔ともに多い状況が続いています。ほ場をよく観察し、必要に応じて防除をしましょう。

ダイズにおけるハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数は、地域差がありますが、概ね平年並の状況です。残暑が厳しく降雨の少ない年には多発する傾向があるので、今後の発生状況に注意してください。

## 2 果樹

ナシにおけるナシヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺数は、安城市、豊橋市では概ね平年並ですが、東海市、長久手町ではやや多くなっています。例年、9月第1半旬に成虫の発生が多くなるので、防除適期を逃さないようにしましょう。

チャバネアオカメムシの餌であるスギ・ヒノキ球果数が本年は少ないため、新世代成虫の発生量は少ないと予測しますが、ヒノキ球果の口針鞘数からすでにヒノキ林から他の餌を求めて移動していると思われます。山際の果樹園など例年、飛来が多いほ場では、引き続き注意しましょう。

カンキツ黒点病の発病果率の高いほ場があります。雨により感染が拡大するので、注意しましょう。ナシ及びカキのうどんこ病は秋になると病勢が回復することがあります。早期落葉を防ぐため、また来年の伝染源を減らすため防除しましょう。ナシ黒星病の発生量が多かったほ場では、越冬病原菌量を減らすため秋期防除を徹底しましょう。また、モモせん孔細菌病及びブドウべと病の発生ほ場では、収穫直後と秋期の防除に努めましょう。

## 3 野菜

アブラナ科野菜における害虫の発生量は平年並ですが、気象予報によると、今後は晴れの日が多く、降雨が少ないと予想されるため、ハイマダラノメイガやハスモンヨトウ等の発生量が増えてくると予測します。育苗中や定植直後に食害されると被害が大きくなるので、育苗までの防虫ネットの設置、育苗期後半～定植時の薬剤処理など、十分な対策をしましょう。

コナジラミ類の発生量は平年並の状況ですが、今後も注意が必要です。防除対策等の詳細は本日発表の「トマト黄化葉巻病情報第1号」を参照してください。

## 4 花き

オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は平年並ですが、成虫の発生ピークは9月上旬ですので、ほ場での生息状況をよく見て、早期防除に努めましょう。

## 普通作物

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
イネ	いもち病 (穂いもち)	少ない	全域	8月下旬の発生量は少ない 9月の降水量は平年並	－ ±
	トビイロウンカ	やや多い	全域	8月下旬の発生量はやや多い	＋
	ツマグロヨコバイ	平年並	全域	8月下旬の発生量は平年並	±
	コブノメイガ	多い	全域	8月下旬の発生量は多い	＋
	フタオビコヤガ	平年並	全域	8月下旬の発生量は平年並	±
	斑点米カメムシ類	多い	全域	8月下旬の発生量は多い	＋
ダイズ	ハスモンヨトウ	やや多い	全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温は高い	± ＋

### ・ 防除対策

#### [イネ・トビイロウンカ]

キラップ粒剤、ダントツ粒剤、スタークル／アルバリン粒剤などで防除しましょう。

#### [イネ・コブノメイガ]

パダン粒剤4、MR. ジョーカーEW、トレボンEWなどで防除しましょう。

#### [イネ・斑点米カメムシ類]

7月22日発表の「病害虫発生予察注意報第4号」を参照してください。

#### [ダイズ・ハスモンヨトウ]

本日発表の「ハスモンヨトウ情報第2号」を参照してください。

## 果樹

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ウンシュウミカン	黒点病	平年並	全域	8月の枯れ枝上の孢子形成量は平年並 8月下旬の発生量は平年並 9月の降水量は平年並	± ± ±
	ミカンハダニ	平年並	全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の降水量は平年並	± ±
	チャノキイロアザミウマ	やや多い	全域	8月下旬の発生量は平年並 黄色粘着トラップにおける誘殺数はやや多い	± ＋
モモ	せん孔細菌病	やや多い	西三河 東三河	8月下旬の発生量はやや多い 9月の降水量は平年並	＋ ±
	モモハモグリガ	やや少ない	全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない 8月下旬の発生量はやや少ない	－ －

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ブドウ	べと病	平年並	全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の降水量は平年並	± ±
カキ	炭疽病	やや多い	東三河	8月下旬の発生量はやや多い 9月の降水量は平年並	＋ ±
	うどんこ病	やや少ない	全域	8月下旬の発生量はやや少ない	－
果樹共通	カメムシ類	やや少ない	全域	予察灯における誘殺数は平年並	±
				スギ・ヒノキ球果数は少ない	－

・防除対策

[ウンシュウミカン・チャノキイロアザミウマ]

テルスターフロアブルやアニキ乳剤などで防除しましょう。

[モモ・せん孔細菌病]

越冬細菌密度を低下させるため、ICボルドー412などで秋期防除しましょう。

[カキ・炭疽病]

アミスター10フロアブルやナリアWDGなどで防除しましょう。

## 野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	黒腐病	平年並	全域	昨年の発生量は平年並 8月下旬現在発生を確認していない(平年並) 9月の降水量は平年並	± ± ±
ダイコン ハクサイ キャベツ	コナガ	平年並	全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	±
	ハイマダラノメイガ	やや多い	全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温は高い	± ＋
ネギ	さび病	平年並	全域	6月下旬の発生量はやや多い 9月の気温は高い	＋ －
ハウレンソウ ナス(施設)	ミナミキイロアザミウマ	やや多い	全域	8月下旬の露地ナスでの発生量はやや多い 9月の気温は高い	＋ ＋
トマト(施設)	コナジラミ類	やや多い	全域	黄色粘着トラップにおける誘殺数は平年並 9月の気温は高い	± ＋
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや多い	全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 9月の気温は高い	± ＋
	オオタバコガ	やや多い	全域	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 9月の気温は高い	± ＋

・防除対策

[ダイコン、ハクサイ、キャベツ・ハイマダラノメイガ]

ダイコンではフェニックス顆粒水和剤、ハチハチ乳剤、エルサン乳剤など、ハクサイではスピノエース顆粒水和剤、プリンスフロアブルなど、キャベツではプレオフロアブル、トルネードフロアブル、プリンス粒剤などで防除しましょう。

〔ホウレンソウ、ナス（施設）・ミナミキイロアザミウマ〕

ホウレンソウではスピノエース顆粒水和剤、パダンSG水溶剤など、ナスではスタークル／アルバリン顆粒水溶剤、ハチハチ乳剤などで防除しましょう。

〔トマト（施設）・コナジラミ類〕

本日発表の「トマト黄化葉巻病情報第1号」を参照してください。

〔野菜共通・ハスモンヨトウ〕

本日発表の「ハスモンヨトウ情報第2号」を参照してください。

〔野菜共通・オオタバコガ〕

本日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参照してください。

## 花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	アブラムシ類	やや多い	全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温は高い	± +
	ハダニ類	やや多い	全域	8月下旬の発生量はやや多い 9月の気温は高い	± +
	アザミウマ類	やや多い	全域	8月下旬の発生量は平年並 9月の気温は高い	± +
	ハスモンヨトウ	やや多い	全域	フェロモントラップにおける 誘殺数は平年並 9月の気温は高い	± +
	オオタバコガ	やや多い	全域	フェロモントラップにおける 誘殺数は平年並 9月の気温は高い	± +

・防除対策

〔キク（露地）・アブラムシ類〕

アドマイヤーフロアブル、モスピラン水溶剤、チェス顆粒水和剤などで防除しましょう。

〔キク（露地）・ハダニ類〕

カネマイトフロアブル、ダニサラバフロアブルなどで防除しましょう。

〔キク（露地）・アザミウマ類〕

ダントツ水溶剤、ハチハチ乳剤などで防除しましょう。

〔キク（露地）・ハスモンヨトウ〕

本日発表の「ハスモンヨトウ情報第2号」を参照してください。

〔キク（露地）・オオタバコガ〕

本日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台8月27日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は、平年と同様に期間の前半は晴れの日が多く、期間の後半は数日の周期で変わるとでしょう。

向こう1か月の平均気温は高い確率が60%です。日照時間は、平年並または高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が80%、2週目は高い確率が70%、3～4週目は高い確率が50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：10% 平年並：30% 高い：60%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%

〈予想される天候の特徴〉

当地方の向こう1か月は、天気は数日の周期で変わる見込みです。（8月28日～9月24日の晴れ日数の平年値は約14日）。